

● 学修評価

【成績評価基準】

各科目における試験の点数により成績の評価をする。C以上を合格とし、単位認定する。

成績	評価	合否	単位
100点～90点	S	合格	認定
89点～80点	A	合格	認定
79点～70点	B	合格	認定
69点～60点	C	合格	認定
59点以下	F	不合格	

○ 学期末(前期・後期・通年)に配付される成績表には、上記の評価の他、次の記載がある。

N : 編入学等、本学入学前の既修得単位については、本学における授業科目の履修とみなし、単位認定をする。

M : 試験未受験とし、不合格とする。

T : 出席不良による受験停止とし、不合格とする。

W : 履修中止を表す。

【評価方法】

科目ごとに設定している学修成果が修得できているかを、定期試験、その他の試験を実施し、点数により適正に評価し、単位認定を行う。定期試験は、筆記・実技、課題提出、作品提出、成果発表、その他の試験は授業内小テストとする。学修成果や試験種別の評価割合はシラバスに記載されている。

【シラバス】

本学は授業科目ごとにシラバス(授業計画)を作成、ポータルサイトで公表をしている。シラバスには教育目標と概要、学修成果、成績評価、授業外学修、授業展開、実務経験のある教員による科目等が記載されている。シラバスは学修計画、コース別教育課程、評価方法等を理解するうえで重要となるため、科目を履修する際は必ず確認、理解をすること。

● 卒業の認定・要件単位数

ディプロマポリシーに則り、厳格な成績評価のもと、学則によって定められた、2年以上在学し、「卒業要件単位数」の合計62単位以上を修得した者に卒業の認定を与える。

教職・司書に関する科目の単位は一部を除き卒業単位に含まれない。

このほか、教員免許状を取得しようとする者は教職課程の授業科目を履修し、所要の単位を修得しなければならない。同様に、司書課程を履修しようとする者は、各々の課程の授業科目を履修し、所要の単位を修得しなければならない。

● 学修指導・卒業判定

本学は教育課程委員会および教授会等において、修得単位、GPA数値により、学修指導、卒業判定

を行っている。これは、学生が主体性を持って学修計画を立てる際の指導として、また卒業する学生については、専門的能力、学士力を学修成果として獲得できているかを判断するために行う。

○ 学修指導

各学年末の修得単位、GPAが以下の学生に対し、学修指導を行う。学生は無理のない履修計画とともに、履修科目の単位修得(B評価以上)を目指すこと。

修得単位による 指導レベル		1年生	注意事項
修得 単位	注意	25-29	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資格課程科目は含まない単位数とする。 ・ 履修単位数の上限(48単位)があるため、1年次から計画的に単位修得をすること。 ・ 長期履修生は個別に学修指導を行う。
	警告	14-24	
	通告	13以下	
GPA	注意	1.5未満	

注意 成績表配付時に本人、保護者等に注意書を送付

警告 成績表配付時に本人、保護者等に警告書を送付、合わせて本人に学修指導を行う。

通告 成績表配付時に本人、保護者等に2年間での卒業が不可となることの通告、合わせて本人に学修継続の意思確認および学修指導(進路指導)を行う。

○ 卒業判定

卒業については、修得単位数とGPAの数値をもって判定を行う。

- ・ 卒業要件単位数(62単位以上)を修得し、GPA:1.5以上は卒業とする。
- ・ 卒業要件単位数(62単位以上)を修得したが、GPA:1.5未満は追加授業、試験等を実施し、その結果をもって再度判定を行う。